

汚水処理施設共同整備事業に係る受託候補者選定結果について

1. 事業名称

汚水処理施設共同整備事業

2. 選定した受託候補者

日立造船株式会社

3. 公募期間

令和5年11月17日から令和5年12月4日

4. 汚水処理施設共同整備事業受託候補者選定委員会による審査

(1) 選定委員会委員名簿（敬称略）

委員氏名	役職等	備考
古崎 康哲	大阪工業大学 工学部 環境工学科 教授	委員長
東良 勝	能勢町 副町長	副委員長
上澤 行成	大阪府 健康医療部 生活衛生室 環境衛生課 参事	委員
長井 順一	一般財団法人 都市技術センター 理事 兼 事業部長	委員
藤原 伸祐	能勢町 総務部長	委員
馬瀬 師彦	能勢町 産業建設部長	委員

(2) 選定委員会の開催日

選定委員会	日	主な内容
第1回	令和5年11月8日	委員長及び副委員長の選任、事業概要の説明、 要求水準書・実施要領等の審議
第2回	令和6年2月5日	提案内容の確認、プレゼンテーション及びヒアリング、提案内容の評価、受託候補者の選定

5. 審査を行った事業者

日立造船株式会社 全1者

6. 審査の結果

評価項目		評価の内容	配点		総合 評価値 日立造船株		
技術審査	技術提案	設計・施工に関する事項 施設の安定稼働のための設計	(1) 搬入し尿等の性状や量の変動に対処するための設計	4	20	3.33	
			(2) 助燃剤の品質を確保するための設計	4		3.00	
			(3) 脱水分離液の性状及び放流水質を安定化のための設計	4		2.00	
			(4) 停電や下水道の受入停止等、緊急時対応の設計	4		2.83	
			(5) 搬入し尿等の処理工程及び臭気対策に係る設計	4		3.00	
		工事施工計画	(1) 改造工事中における既存施設の安定稼働対策	4	10	1.83	
			(2) 改造工事手順の妥当性(安全対策を含む)	3		1.25	
			(3) 改造工事中における臭気漏洩対策等の環境保全対策	3		2.25	
		運営維持管理に関する事項	運転管理計画	(1) 運営維持管理体制(人員配置、有資格者等)	5	20	3
				(2) 運営維持管理体制(配置技術者の業務実績)	5		0
	(3) 緊急時、大規模災害時の業務継続計画及びリスク			5	3.54		
	(4) 運転管理計画			5	3.54		
	維持補修計画		・設備機器の点検及び維持補修計画の妥当性について評価する。	5	5	3.96	
	環境管理計画	・周辺環境及び作業環境への配慮・対策の妥当性について評価する。	5	5	3.13		
	施工実績等	優良な工事成績点	・同分野の工事における過去3年間の優良な工事成績点の件数	2	6	1	
		同種工事の施工実績	・過去15年間に於ける汚泥再生処理センターの新設工事等の完成工事実績	2		2	
		同種施設の維持管理実績	・汚泥再生処理センター及び下水処理施設の運転管理受託実績。	2		1	
	企業の信頼性・社会性	若手・女性技術者の育成	・若手(40歳以下)もしくは女性技術者の配置	1	4	1	
		アフターサービス体制	・アフターサービス部門もしくは関連企業の有無	1		1	
		大阪府施策への取組	・障がい者の雇用状況	1		1	
担い手の確保		・担い手の確保及び定職率の向上	1	1			
小計			70		44.66 ※		
価格審査	見積金額	・改造工事費と運営管理委託費の合計金額を価格評価点の算出式により点数化する。	30		30		
合計			100		74.66		

※応募者は1者であった場合の受託候補者の選定基準「技術評価点が60%以上(配点70点のうち42点以上)」を満たしている。

7. 選定委員の講評

本事業は、能勢町(以降、「本町」という。)内の汚水処理施設の現状を踏まえて、し尿処理施設の処理方式を下水道放流方式に改造することにより町内の生活排水処理の合理化を行うとともに維持管理費の節減を図るため、し尿処理施設の改造工事とし尿処理施設及び下水道施設の運営維持管理を行うものである。

事業方式は、し尿処理施設改造工事の設計施工と両施設の運営維持管理業務を民間事業者に一括かつ長期的に委託することにより、民間事業者の創意工夫が発揮され、財政負担の軽減が期待できることから公設民営(DBO)方式を採用した。

上記の事業方式により本事業への参加者を募集したところ、1者から応募があり、創意工夫に富む意欲的な提案がなされた。提出された技術提案書は、豊富な経験とノウハウが十分に盛り込まれ、熱意あふれる優れた技術提案となっており、本町が計画しているし尿処理施設改造工事の設計施工能力及び改造したし尿処理施設並びに下水道施設の運営維持管理能力を有していることを確認できた。短期間のうちに、このような提案をまとめ上げた応募者の多大な尽力に対して、深く敬意と謝意を表したい。

汚水処理施設共同整備事業受託候補者選定委員会では、本事業の公募型プロポーザル実施要領等に示した基準に則り、厳正かつ公正・公平に審査を行った結果、日立造船株式会社を受託候補者として選定した。

本事業の推進にあたり、日立造船株式会社におかれては、本事業が本町の汚水処理のきわめて重要な役割を担うものであることを再認識し、日立造船株式会社が有する汚水処理施設の豊富な設計・施工及び運営管理実績を、確実にフィードバックできるよう双方協議の上、官民パートナーシップの精神に基づき本事業の安定的かつ円滑な推進に努めていただきたい。

なお、本事業をより良いものとするため、本委員会は日立造船株式会社に対し、次の点に配慮して事業を実施していただくことを求めるものである。

- 改造工事は既設の稼働中に行う必要があることから、既設の稼働及び維持管理作業に十分配慮するとともに、改造後のし尿処理施設のコアとなる助燃剤化設備の設計・施工は、既設からの切り替え工事を含めて適正かつ円滑に行うこと。
- 本事業は、町内から排出される汚水の処理を、し尿処理施設と下水道施設が連携して行うことから、改造後のし尿処理施設で発生する脱水分離液の希釈投入にあたっては、下水道施設の水処理に支障をきたすことのないよう、放流水質の監視・安定化を適正に行うこと。
- 設計協議や施工中に確認された課題については、誠意をもって協議し、対応すること。